

シンポジウム

再生可能エネルギーによる地域の再生

地域付加価値分析とシュタットベルケ

日時：2016年11月11日(金)、午後1時～5時、その後、懇親会を開催

会場：イオンコンパス東京駅前会議室 3-D 室（東京都中央区八重洲 2-2-1 日本酒類販売新八重洲口ビル 3・4 階）

参加申し込み：参加ご希望の方は、下記より参加申し込みの手続きをよろしくお願い致します。

URL:<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdOtWSrMDisShw6kTJxxj82cUeXOjunYqXZviejEPwspjvqaA/viewform>

プログラム：

13:00-13:10 開会挨拶：諸富徹(京都大学)+榎原友樹(株式会社 E-konzal)

13:10-14:40 セッション1：再エネが生み出す「地域付加価値」とは何か

13:10-14:10 【報告：各報告 20 分】

ラウパッハ・スミヤ ヨーク(立命館大学)「日本における地域付加価値創造分析の社会実装」

中山琢夫(京都大学)「日本における地域付加価値創造分析モデル、検証、その適用」

小川祐貴(京都大学大学院地球環境学舎)「地域付加価値創造分析の理論とケーススタディ」

14:10-14:30 【質疑応答】

14:40-16:20 セッション2：シュタットベルケの可能性：再エネによる地域再生

14:40-15:40 【報告：ラウパッハ 30 分、中山・諸富各 20 分】

ラウパッハ・スミヤ ヨーク「欧州エネルギー市場の転換におけるドイツ・シュタットベルケの戦略」

中山琢夫「シュタットベルケによるエネルギー事業の再公有化とそのねらい」

諸富徹「日本におけるシュタットベルケ創設の動向とその意義」

15:40-16:20 【質疑応答】

16:20-16:50 セッション3：自治体との協力関係構築の呼びかけ

榎原友樹「地域を元気にする再生可能エネルギーと自治体の役割」

16:50-17:00 閉会挨拶：諸富徹

